

春秋座 アンサンブル シリーズ

第4回
【東と西、時代を超えてみると?】
11月26日(土)
15:00開演

第5回
【新しき室内楽への道】
2006年1月21日(土)
15:00開演

全席自由 一般 3,000円
学生&ユース 2,500円

*ユースとは25歳以下のこと。

*学生証または年齢のわかるものをご提示
ください。

*就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

*当日500円増

★ご来場回数が増すごとにチケット料金が200円ずつ
割引かれる、お得な「リピート割引」があります。

★2回目以降のご購入の際には、初回購入時にお渡しす
るIDカードをご提示ください。

★「リピート割引」は前売・予約のみに適用させていただきます。

アンサンブル……

そこには

様々なコミュニケーションがあります。

弦楽アンサンブルから

他では聴くことのできない

楽器の組み合わせまで、

コミュニケーションから生まれる

「音」の世界をお楽しみください。

春秋座アンサンブル・シリーズ

第4回 【東と西、時代を超えてみると?】 11月26日(土) 15:00開演

鈴木 俊哉(リコーダー) 中村 仁美(筆篋) 通崎 睦美(マリンバ)

- 作者不詳(14世紀) サルタレッコ(リコーダーソロ)
- ソラージュ(14世紀フランス) 煙をくゆらせ者たち(リコーダー&マリンバ)
- 作者不詳(15世紀イタリア) 高尚な驚(リコーダー&筆篋)、パス・ダンス(筆篋&マリンバ)
- J.ボールドウィン(16世紀イギリス) 「ウト、レ、ミ、ファ」に基づいて(リコーダー&筆篋)
- 雅楽古典 盤渉調調子(筆篋ソロ)

- 石井真木 トリオのための編曲版「飛天生動1」(リコーダー、筆篋、マリンバ)
- 港大尋 「届くことのない12通の手紙」より(マリンバソロ)
- 野田雅巳 新曲《委嘱:アサヒビールロビーコンサート》(筆篋&バラフォン)
- J.S.バッハ 主よ、人の望みの喜びよ(リコーダー、筆篋、マリンバ)

ほか



鈴木 俊哉(すずき としや) リコーダー

1961年、愛知県生まれ。'77年全日本リコーダーコンクール高校の部優秀賞を受賞。花岡和生氏と、'82年よりアムステルダム＝スヴェーリンク音楽院でワルター・ファン・ハウヴェ氏に師事し、ソリストディプロマを得て卒業。現代作品の演奏を積極的に行う。ガウデアムス音楽週間、ウィーン・モテルン、ネザーランド・ダンス・シアター、ダルムシュタット現代音楽夏期講習などヨーロッパを拠点に活躍。国内では、'92年名古屋でリサイタルデビュー、その後カザルスホールや山口音楽祭、東京オペラシティのリサイタルシリーズ「B→C」('98年)、「コンポージア2000」('00年)等に出演。その超絶技巧だけでなく高い音楽性が高い評価を得ている。また、ダルムシュタットでの細川俊夫との出会いから、秋吉台国際20世紀音楽セミナー&ワークショップや武生国際音楽祭に出演。ダルムシュタット現代音楽夏期講習、日本現代音楽協会のワークショップなどの指導者として招かれる。



中村 仁美(なかむらひとみ) 筆篋

東京芸術大学音楽学修了。雅楽全般を芝祐祐氏、筆篋を大窪永夫氏に師事。「伶楽舎」メンバー。1986年より国立劇場公演などに出演し、'90年より一柳慧による「TIME」の海外・国内公演に参加。'94年八ヶ岳音楽祭以降、武満徹作曲「秋庭歌一具」を数多く演奏する。PMF、タングルウッド音楽祭、ウィーン・モテルン、ウルティマ現代音楽祭、アヴィニオン・フェスティバルなどの音楽祭に参加。2002年、'04年にはミュージック・フロム・ジャパン主催アメリカ公演に出演。雅楽古典曲だけでなく現代作曲家の新作を数多く演奏し、和洋さまざまなジャンルの音楽家やオーケストラなどと共演している。'92年~'97年には筆篋リサイタル「葦の声」、'03年からはリサイタルシリーズ「葦の風」を企画。筆篋のソロ曲やアンサンブル曲を多数委嘱初演して、生命力あふれる筆篋の、未開拓な可能性と魅力を探求している。国立音楽大学講師。



通崎 睦美(つうざきむつみ) マリンバ

1992年京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。'91年のデビューコンサート以降、自身でコンサートをプロデュースし、毎回新しい試みに取り組んできた。コンサートの成果に対し、青山音楽賞、大阪文化祭賞を受賞。'93年より演奏を始めたピアソラ作品では、小松亮太&ザ・タンギスツ、井上道義指揮・京都市交響楽団等、様々なユニットと共演を重ね、'99年にCD「M×PIAZZOLLA」(ewcc0005)をリリース。「アイディアがアイディアに終わらず、ピアソラの音楽に新たな表現をもたらした」(濱田滋郎/レコード芸術)と評された。常に作曲や編曲の委嘱を活発に行い、独自のレパートリーを開拓。ピアノ、ヴァイオリン、箏、三絃を始めとする様々な楽器やダンスとのデュオ、マリンバ・トリオ、室内楽やオーケストラとの共演など、多様な形態で演奏活動を行っている。CDは他に「MUTSUMI~Songs from Asia」(ewcc0003)「届くことのない12通の手紙」(ALCD9029)

第5回 【新しき室内楽への道】 2006年1月21日(土) 15:00開演

長岡京室内アンサンブルメンバーより

森 悠子 ヤンネ・館野 谷本 華子(ヴァイオリン) 山本 由美子(ヴィオラ) 五味 敬子(チェロ) 長谷川 順子(ベース)

- W.A.モーツァルト ディヴェルティメント へ長調 K138
- W.A.モーツァルト セレナード(アイネ・クライネ・ナハトムジーク) ト長調K525
- Z.コダーイ セレナード へ長調 Op.12
- B.バルトーク 44の二重奏曲より



長岡京室内アンサンブル

「地域ごとに独自の音色を持つオーケストラがあるヨーロッパのように、長岡京独自の音色、思想をもった演奏団体を育てたい」という理念の下、1970年代より欧米を中心に教育・演奏両面で国際的に活躍してきたヴァイオリニスト・森悠子(1999~2004年まで、ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院教授を勤めた)が音楽監督となり、国内外の各地から教え子を中心とした優秀な若手演奏家が集まり、'97年3月「長岡京室内アンサンブル」を結成。指揮や合図に頼らず互いの音を聴く「耳」を究極に研ぎ澄ました独自のスタイルを特長に、その演奏の緻密で洗練された技術と凝縮力の高さ、独自の様式感覚を持った高度な表現方法と音楽性の高さは、日本でも稀有な存在と高く評価されている。'02年、'03年と続けて「大阪国際フェスティバル」に出演。'00年に「第20回音楽クリティッククラブ賞」、'01年「エクソンモービル音楽賞・洋楽部門奨励賞」、'03年「ABC音楽賞・大賞」、藤堂頭一郎音楽褒賞基金、'04年長岡京市より平成16年度「文化功労賞」等を授賞。

《チケット取扱い》

○京都芸術劇場チケットセンター 075-791-8240 (平日10:00~17:00)

○電子チケットぴあ 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

0570-02-9966 (Pコード196-973)

*リピート割引は劇場チケットセンターのみでのお取扱いとなります。

お問合せ: 京都造形芸術大学 京都芸術劇場
京都市左京区北白川瓜生山2-116
Tel 075-791-9437

京都芸術劇場「春秋座」

〒606-8271
京都市左京区北白川瓜生山2-116

- JR京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
→京都市バス5番若岩行き乗車
上終町京都造形芸大前下車(京都駅から50分)
- 京都私営地下鉄 丸太町駅・北大路駅から
→京都市バス204循環に乗車
上終町京都造形芸大前下車(約15分)
- 京阪電鉄出町柳駅から
→タクシーで10分
→叡山電車に乗り換え茶山駅下車徒歩10分
- 駐車場はございません。



構成・司会: 有田 栄

企画協力: テレビマンユニオン

主催: 京都造形芸術大学